

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社九州リースサービス
 コード番号 8596 URL <http://www.k-lease.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員業務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日

(氏名) 榎本 重孝
 (氏名) 山下 伊佐夫

TEL 092-431-2530

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	11,646	27.5	1,125	46.5	1,186	40.2	346	3.9
21年3月期第2四半期	16,064		2,103		1,982		360	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	11.09	
21年3月期第2四半期	10.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	134,236	15,345	11.4	492.02
21年3月期	144,703	15,127	10.5	478.62

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 15,334百万円 21年3月期 15,122百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		7.50	7.50
22年3月期		0.00			
22年3月期(予想)				7.50	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	31.3	2,000	12.0	1,600	19.7	700	4.2	22.37

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	37,143,374株	21年3月期	37,143,374株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	5,977,161株	21年3月期	5,546,671株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	31,286,243株	21年3月期第2四半期	34,058,495株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。
2. 本資料に記載されている業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、予想数値に関する事項は、4ページをご参照下さい。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出などの持ち直しを背景に景況感にやや改善の兆しがみられるものの、設備投資の低迷や雇用情勢の悪化などにより、景気の先行きについては依然として不透明感はぬぐい切れず、予断を許さない状況下にあります。

このような中、当社グループでは良質資産の積み上げによる安定収益基盤の構築を旨とするとともに、有利子負債の削減など財務体質の強化にも取り組んでまいりました。また、平成21年9月に㈱ユーティライズの全株式を取得し、グループ全体における長期安定的な収益基盤の構築を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、前年同期に大口の不動産売却収入が計上されていた反動減などにより売上高は11,646百万円(前年同期比27.5%減)となりました。また、貸倒引当金繰入額の増加などにより、営業利益は1,125百万円(前年同期比46.5%減)、経常利益は1,186百万円(前年同期比40.2%減)となりましたが、特別損失が前年同期に比べて大幅に減少した影響で、四半期純利益は346百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

リース事業

設備投資の低迷に加え安全性を重視した営業活動を行いました結果、リース実行高は2,960百万円(前年同期比46.4%減)となり、リース部門の資産残高減少により売上高は6,805百万円(前年同期比11.7%減)となりました。一方、資金調達コストの減少などにより営業利益は377百万円(前年同期比19.2%増)となりました。なお、リース債権及びリース投資資産残高は22,340百万円(前期末比12.8%減)、割賦債権残高は11,561百万円(前期末比12.5%減)となりました。

融資事業

新規貸出の抑制や大口の期限前回収の発生に伴う営業貸付残高の減少により売上高は812百万円(前年同期比28.3%減)となり、貸倒引当金繰入額の増加などにより6百万円の営業損失となりました。なお、営業貸付金残高は33,651百万円(前期末比3.6%減)となりました。

不動産事業

主に賃貸不動産の増加により好調に推移いたしました。不動産売却収入の減少などにより売上高は3,222百万円(前年同期比49.8%減)となり、営業利益は690百万円(前年同期比40.2%減)となりました。なお、賃貸不動産残高は39,480百万円(前期末比4.6%増)、販売用不動産残高は7,721百万円(前期末比5.3%減)となりました。

フィービジネス事業

自動車リースの紹介や不動産投資案件の減少などにより売上高は397百万円(前年同期比18.6%減)となり、営業利益は319百万円(前年同期比16.6%減)となりました。

その他事業

当社グループで運営しておりますゴルフ場の売上が増加したことにより、売上高は409百万円(前年同期比32.7%増)となり、営業損失は前年同期の60百万円から15百万円へ減少いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は134,236百万円(前期末比7.2%減)と前連結会計年度末に比べ10,466百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少4,310百万円、割賦債権の減少1,648百万円、リース債権及びリース投資資産の減少3,291百万円、営業貸付金の減少1,274百万円などであります。

負債合計は118,891百万円(前期末比8.2%減)と前連結会計年度末に比べ10,684百万円の減少となりました。これは主に借入金の減少4,034百万円、一部期限前償還などに伴う社債の減少5,022百万円、支払手形及び買掛金の減少1,376百万円などであります。

純資産合計は15,345百万円(前期末比1.4%増)と前連結会計年度末に比べ217百万円増加いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4,310百万円減少し8,357百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、リース債権及びリース投資資産の減少による収入3,117百万円、割賦債権の減少による収入1,494百万円、営業貸付金の減少による収入1,274百万円などが主要なものであり、全体では6,011百万円の資金流入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ4,194百万円の収入減となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出535百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入258百万円などにより、全体では463百万円の資金流出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ16百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に有利子負債の減少に伴うものであり、全体では9,858百万円の資金流出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ108百万円の支出減となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、当初予想を上回ったものの、先行きの経済環境は依然不透明であるため、通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月13日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 貸倒見積高の算定につきましては、前連結会計年度で用いた貸倒実績率を使用しております。
2. 販売用不動産の簿価切下げにつきましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積る方法を採用しております。
3. 繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングに重要な変更を加味したものを利用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,438	12,748
割賦債権	11,561	13,210
リース債権及びリース投資資産	22,340	25,632
営業貸付金	33,651	34,925
賃貸料等未収入金	261	264
有価証券	39	139
販売用不動産	7,721	8,153
その他	1,966	2,192
貸倒引当金	1,288	847
流動資産合計	84,693	96,419
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産(純額)	39,480	37,757
その他(純額)	10	12
賃貸資産合計	39,490	37,769
社用資産	1,337	1,316
有形固定資産合計	40,828	39,085
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	4,539	4,266
その他	3,302	4,139
貸倒引当金	11	11
投資その他の資産合計	7,830	8,394
固定資産合計	49,543	48,283
資産合計	134,236	144,703

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	584	1,961
短期借入金	66,386	70,390
1年内償還予定の社債	4,934	9,060
未払法人税等	21	8
引当金	113	143
その他	2,966	2,646
流動負債合計	75,006	84,211
固定負債		
社債	3,544	4,440
長期借入金	34,577	34,608
引当金	280	310
その他	5,481	6,005
固定負債合計	43,884	45,364
負債合計	118,891	129,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	822	822
利益剰余金	14,346	14,236
自己株式	2,380	2,266
株主資本合計	15,722	15,726
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	132	293
繰延ヘッジ損益	255	310
評価・換算差額等合計	388	603
少数株主持分	11	5
純資産合計	15,345	15,127
負債純資産合計	134,236	144,703

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	16,064	11,646
売上原価	12,648	8,864
売上総利益	3,415	2,782
販売費及び一般管理費	1,311	1,656
営業利益	2,103	1,125
営業外収益		
受取利息	39	38
投資有価証券売却益	33	139
受取補償金	-	89
その他	72	70
営業外収益合計	145	338
営業外費用		
支払利息	181	185
その他	84	92
営業外費用合計	266	277
経常利益	1,982	1,186
特別利益		
リース会計基準の適用に伴う影響額	35	-
特別利益合計	35	-
特別損失		
減損損失	618	-
販売用不動産評価損	296	-
投資有価証券評価損	175	150
特別損失合計	1,090	150
税金等調整前四半期純利益	926	1,036
法人税、住民税及び事業税	3	10
法人税等調整額	562	678
法人税等合計	565	688
少数株主利益	0	0
四半期純利益	360	346

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	926	1,036
減価償却費	400	500
減損損失	618	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	76	438
引当金の増減額(は減少)	66	61
受取利息及び受取配当金	56	50
資金原価及び支払利息	1,444	1,157
投資有価証券評価損益(は益)	175	150
投資有価証券売却損益(は益)	33	139
リース会計基準の適用に伴う影響額	35	-
割賦債権の増減額(は増加)	43	1,494
リース債権及びリース投資資産の増減額(は増加)	1,714	3,117
営業貸付金の増減額(は増加)	6,211	1,274
販売用不動産の増減額(は増加)	3,279	432
賃貸資産の取得による支出	2,708	1,557
仕入債務の増減額(は減少)	507	1,392
その他	1	693
小計	11,481	7,093
利息及び配当金の受取額	38	14
利息の支払額	1,304	1,090
法人税等の支払額	8	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,206	6,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10	-
社用資産の取得による支出	40	17
その他の無形固定資産の取得による支出	110	14
投資有価証券の取得による支出	351	160
投資有価証券の売却及び償還による収入	64	258
出資金の払込による支出	12	1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	535
その他	7	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	447	463
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	5,140	3,088
長期借入れによる収入	15,265	19,873
長期借入金の返済による支出	17,934	21,040
債権流動化の返済による支出	-	151
社債の償還による支出	1,773	5,100
自己株式の取得による支出	128	114
配当金の支払額	255	236
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,966	9,858
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	207	4,310
現金及び現金同等物の期首残高	9,052	12,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,845	8,357

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	リース 事業 (百万円)	融資 事業 (百万円)	不動産 事業 (百万円)	フィー ビジネス 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益								
売上高	7,710	1,133	6,423	488	308	16,064		16,064
営業利益(営業損失)	317	584	1,154	383	60	2,378	(274)	2,103

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

事業区分	事業内容
リース事業	機械設備等のリース(リースの満了・中途解約に伴う物件販売を含む)及び割賦販売
融資事業	金銭の貸付、債権の買取
不動産事業	不動産の賃貸、不動産の販売、匿名組合等に対する出資
フィービジネス事業	生命保険の募集、自動車リースの紹介、不動産関連サービスの提供、損害保険代理業等
その他事業	ゴルフ場の管理経営等

会計処理の方法の変更

所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を早期適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。なお、会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、前連結会計年度末における固定資産の適正な帳簿価額(減価償却累計額控除後)をリース投資資産の期首の価額として計上し、会計基準適用後の残存リース期間における利息相当額の配分方法は定額法によっております。

また、同会計基準の適用に伴い、従来、金融取引として会計処理しておりましたリース債権の流動化取引につきましては、金融資産の消滅を認識し第1四半期連結会計期間において売却処理を行いました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のリース事業の営業利益は21百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	リース 事業 (百万円)	融資 事業 (百万円)	不動産 事業 (百万円)	フィー ビジネス 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益								
売上高	6,805	812	3,222	397	409	11,646		11,646
営業利益(営業損失)	377	6	690	319	15	1,365	(239)	1,125

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

事業区分	事業内容
リース事業	機械設備等のリース(リースの満了・中途解約に伴う物件販売を含む)及び割賦販売
融資事業	金銭の貸付、債権の買取
不動産事業	不動産の賃貸、不動産の販売、匿名組合等に対する出資
フィービジネス事業	生命保険の募集、自動車リースの紹介、不動産関連サービスの提供、損害保険代理業等
その他事業	ゴルフ場の管理経営等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

営業資産残高

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)		前連結会計年度 (平成21年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
リース事業				
ファイナンス・リース	22,340	20.6	25,632	22.6
オペレーティング・リース	10	0.0	12	0.0
リース計	22,351	20.6	25,644	22.6
割賦販売	11,561	10.6	13,210	11.7
リース事業計	33,912	31.2	38,854	34.3
融資事業	33,651	31.0	34,925	30.8
不動産事業				
オペレーティング・リース	39,480	36.3	37,757	33.3
その他	1,610	1.5	1,788	1.6
不動産事業計	41,090	37.8	39,545	34.9
合計	108,654	100.0	113,325	100.0